

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2024年12月3日
第48号

税の作文で最優秀 土谷心絆さん 税による支え合い、社会を繋ぐ

1年3組の土谷心絆さんが小樽の税の作文コンクールで最優秀となり、表彰された。土谷さんはおばあさんが透析をうけているため、医療控除があり、税金に支えられていることに気づいた。さらに道路、電気などのインフラや、警察、消防などの存在により、私たちの社会生活の安全、安心が守られていることに思い至ったという。

税金は何のためにあるのか。
買い物をするれば、消費税がかかります。生活しているだけでも光熱費がかかります。生きていくだけで税金がかかると思うと良い気分にはなれない。

私の祖母は持病が複数あり、医療費の負担減や税金の控除を受けている。それがなければ月

数十万円の負担がある。祖母は多くの人の税金に支えられて生活しており、私たち家族も助かっている。

税金がなかったら世界はどうなっているだろう。道路、電気、また、安全を担ってくれる警察、消防がいることも税金により成り立っている。

税金により、顔も名前も知らない人たちが助け合い、支え合っている。私たちが当たり前のように納めている税金が人の負担を減らし、支えられていると考えると素敵なことだと思えてきた。

人を繋ぎ支え合う 社会の基盤

税金により人が繋がりが支え合い、全ての人が明るい笑顔で幸せな生活を送れる世界になることを願っている。



朗読会で作文を読み上げ、表彰された土谷さん

バドミントン秋季大会

山田瑠菜さん準優勝 女子団体は全道あと一歩

バドミントン部は11月16、17、23日、支部秋季大会に出場した。女子団体戦は6チーム中4位となり、全道出場を逃した。女子シングルスでは山田瑠菜さん(1-3)が準優勝となり、1月の全道大会出場権を得た。

山田さん全道で2回戦目指す

山田さんは膝のけがで万全ではなかったものの、高等聾学校、倶知安、潮陵(2名)と対戦して勝ち上がり、決勝で未来創造の選手に敗れた。「半月ぶりに練習し、思うようにいかなかったが、結果的には順位を落とさなかったのは良かった」と安堵



バドミントン部のみなさん、顧問、コーチと

している。全道大会出場は今度4回目となる。「今度こそは2回戦に進む」と決意を新たにしている。

応援される部を目指す

女子団体戦では明峰に3-0で勝ち、潮陵に0-3、倶知安に0-3で敗れ、4位となった。3位までが全道出場となり、あと一歩だった。

明峰戦にはD山田瑠菜・住吉も組、D松尾花奈・佐藤亜樹組、S堀るみ、潮陵戦にはD佐藤亜樹・山田瑠菜組、D堀るみ、渡辺莉央組、S松尾花奈、倶知安戦にはD堀るみ、渡辺莉央組、D山田瑠菜・住吉も組、S佐藤亜樹で臨んだ。

部長の堀さんは「団体戦で全道出場を目指して練習を頑張っているが、反省として技術面だけでなく勝ちきる精神力や自信をつけることを意識したい。バドミントンをできる環境に感謝し、応援される人になれるよう努めていく」と語った。

双葉の郷里

戦争が奪うもの

私たちは修学旅行3日目に沖縄で平和学習として、ひめゆりの塔及びひめゆり平和祈念資料館を訪れました。

私が印象に残っているのは、ひめゆり平和祈念資料館で読んだ文章で、その文章にはひめゆり学徒隊の生き残った方々の悲惨な体験が綴られていました。中でも私が特に恐ろしいと感じた文章は、水を求めた親子を見捨てて生き残ってしまったという内容の文章です。「今でもその親子のことを思うと心が疼く」という一節から、私は戦争が奪うものについてより深く知ることができたと思いました。それは、命や土地などだけではなくて、人の尊厳、感情、助け合い、そして生きる勇気です。沖縄戦では実際に多くの命が奪われる集団自決が起こりました。生きる勇気が奪われたら、生き残ったとしても自責の念に襲われて、心に深い傷を残すことになります。

何もかも奪い去ってしまう戦争は絶対にあってはならないことだと再確認し、戦争の恐ろしいところを学びました。今回の平和学習は本当に大切なものだと思います。

(大塚翔太)